

Iの柱 子ども・若者の健やかな成長と自己形成・社会参画支援

基本目標2 社会形成・社会参加支援、職業的自立・就労支援

基本方策③ 子ども・若者の社会参加の促進

【現状と課題】

子ども・若者が、社会の一員として主体的に参画していくためには、社会で果たすべき役割と責任を自覚し、自ら判断し行動する力など、社会人としての基礎を身に付けるとともに、課題を見つけ、解決のために積極的に行動ができるようにすることが必要です。

平成27年6月に公職選挙法が改正され、平成28年6月に施行されました。この改正で選挙権年齢が満18歳以上に引き下げられ、高校生でも18歳になれば有権者として投票できることになりました。社会の中で自ら判断し、行動できる力を早期に身に付けていくことが求められています。

また、本県は、2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックの競技開催県の一つとなっており、世界中の国や地域から、多くの選手や関係者、観光客が訪れます。オリンピック・パラリンピックは多くのボランティアに支えられ開催されますが、ボランティア活動への参加や様々な国や地域の人々との交流は、本県の将来を担う人づくりのチャンスでもあり、この機会をとらえ、子ども・若者のボランティア参加への機運を醸成することが重要です。

さらに、情報化社会の進展や社会・経済のグローバル化など、子ども・若者を取り巻く環境は急速に変化しています。変化の激しいこれからの時代を生き抜くためには、日本人としてのアイデンティティ⁴を持ち、豊かな語学力・コミュニケーション能力、チャレンジ精神や異文化を理解する能力を持ち、様々な分野で主体的に活躍できるグローバル人材の育成が求められています。



⁴ アイデンティティ：自己同一性。自分は何者であり、何をなすべきかという個人の心の中に保持される概念。広義には、「同一性」「個性」「国・民族・組織などある特定集団への帰属意識」「特定のある人・ものであること」などの意味で用いられる。

【主な施策の方向性】

(1) 東京 2020 オリンピック・パラリンピックを契機としたボランティア活動への参加促進（県民生活・文化課、教育庁生涯学習課）

- ・ 東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、県民のボランティア活動への参加機運を醸成するとともに、小中高生や大学生などがボランティア活動に参加・体験することなどを通じて、次世代を担う若者の「ボランティア精神」や「おもてなしの心」を育みます。
- ・ さわやかちば県民プラザ（生涯学習センター）において、高校生を対象としたボランティア講座や成人を対象とした各種講座の開催、子どもや若者の社会貢献活動・ボランティア活動などの情報発信等を行うとともに、体験活動・ボランティア活動の情報収集・提供・相談を実施します。

(2) 主権者教育⁵の推進〔新規〕（教育庁学習指導課）

- ・ 子ども・若者の主権者としての自覚を促し、必要な知識と判断力の習熟ができるよう、学校における政治的教養を育む教育の一層の充実を図ります。

(3) グローバル人材の育成（国際課、県民生活・文化課、教育庁教育政策課、教育庁学習指導課）

- ・ 我が国の将来を担う若い世代の国際理解・体験の機会を充実させ、異文化を理解し、国際社会で主体的に行動できる人材の育成を目指します。
- ・ 外国語教育を充実させ、小・中・高等学校を通じた系統性のある英語教育で、コミュニケーション能力等を確実に養い、グローバル化に対応した人材の育成を目指します。
- ・ 多文化共生社会づくりを推進するため、各学校における外国人児童生徒等の受け入れがスムーズに行われるよう、日本語指導ができる外部人材の配置の充実を図ります。

(4) 社会貢献活動等の推進（県民生活・文化課）

- ・ 善意や親切心からよい行いをした青少年や、青少年の健全育成に尽力した団体を表彰し、その活動を讃えるとともに、その気運を県内に広めていき、自主的・自発的な活動の推進を図ります。

⁵ 主権者教育：国家及び社会の形成者として必要とされる基本的な資質や能力を育む教育

- ・ 中学生が自らの体験を踏まえて、思いや夢を発表する機会として、「中学生の主張千葉県大会」を開催し、青少年の健やかな成長を促します。

◎関連指標

	現状（基準年）	目標（H34）
[ボランティアへの参加促進] ボランティアとして活動したことがある 若者（20代）の割合 ＜県政に関する世論調査＞	40% (H28)	増加を目指します

◎主な事業

事業名	事業の内容（担当課）
次世代ボランティア人材育成事業	<p>地域を担う若者の「ボランティア精神」や「おもてなしの心」を醸成し、社会貢献活動への参加を促すため、主に小中高生や大学生を対象に、次世代のボランティア人材を育成する事業を実施する。</p> <p>なお、より実践的で効果的な事業とするため、地域活動や人材育成に係る専門的な知識やノウハウを有する市民活動団体、大学、企業などから企画提案を募集する。 (県民生活・文化課)</p>
さわやかちば県民プラザ「交流事業」	<p>さわやかちば県民プラザにおける「交流事業」の一環として、ボランティア意識の向上を図ることを目的とした「高校生のためのボランティア体験講座」「体験活動ボランティア活動各講座（入門・実践・スキルアップ）」、若者の社会参画を目的とした「ヤングパワームーブメント」「子どもチャレンジプロジェクト」を実施する。</p> <p>また「千葉県体験活動ボランティア活動支援センター」において、体験活動・ボランティア活動に係る情報収集・提供を実施する。 (教育庁生涯学習課)</p>
グローバル人材プロジェクト事業	<p>児童生徒が海外に目を向け、自らが成長するきっかけを提供するとともに、本県の次代を担う子どもたちの成長に貢献するため、各種事業を実施する。高校生等が海外留学する際の助成、スーパーグローバルハイスクールの指定、外部専門機関と連携した英語担当教員の指導力向上、海外からの留学生との交流会や海外理解促進のための講演会の開催、国際教育を積極的に実践している学校の優れた取組の普及啓発、留学フェアの開催などの事業がある。 (教育庁教育政策課、教育庁学習指導課)</p>